

# 広報

# ながはま 5月号



横断歩道の渡り方を訓練する長浜保育所の子供たち

## みんなで交通安全を

人命尊重の精神に徹して、広く住民の皆さんに交通安全思想の周知徹底を図り、思いやりとゆずりあいの心で正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけるため、県民総ぐるみで交通安全運動を強力に推進し、住みよい交通環境づくりを促進して、交通事故防止の徹底を図ることを目的として、交通安全県民総ぐるみ運動が実施されています。

重点目標として、歩行者、自転車利用者、特に子供・老人の交通事故防止、安全運転の確保、特に無謀運転の防止、交差点3S運動の推進などを掲げて「交通安全はお茶の間から」をスローガンに展開しています。

幼稚園・保育所では、交通安全こじかクラブ等を中心に、飛び出し事故の防止等、母子ぐるみの集合訓練を積極的に行なうことになっています。

長浜保育所では、婦人交通指導員を招いて、子供たちの横断歩道の渡り方などの訓練を行ないました。

無事故をめざして、みんなで交通事故に気をつけたいものです。

昭和57年交通安全

年間スローガン

(運転者向け)

危険です 寝不足 積み過ぎ

飛ばし過ぎ

(歩行者向け)

だいじようぶ でももう一度

右左

(子供向け)

あぶないよ 車が見えない まがりかど

# 新しい時代へ対応

## 国・県に準じ行政改革を推進

昭和五十七年長浜町議会第一回定例会が、三月十八日から二十四日までの七日間の会期で開かれ、総合エネルギー基地建設へむけての五十七年度の当初予算が可決されて、長浜町行政の計画ができた。また、ほか、条例改正案など全部で二十九件いずれも原案通り可決。またこのほか、離島振興法延長実現に関する決議書、地域の公共交通確保に関

する意見書を可決、陳情書など六件の報告案件が受理採択されました。また、議案審議の前に町長が昭和五十七年度の施政方針を演説。一般質問では五人が十七件の質問を行いました。町長の施政方針、可決されたこと、一般質問の模様のあらましをご紹介しますので、五十七年度の長浜町のあり方などを判断ください。

### 五十七年度施政方針要旨

#### はじめに

町長就任以来、住民の皆さんの深い理解とご協力により、円滑に町政が運営されたことに、心から感謝を申し上げます。今年私にとって任期満了に伴う大切な年であり、町長就任の際表明した町政運営の基本理念である①秩序ある町政の推進②地域の経済活動

を高める積極的な行政③町民世論を反映した公正な政治④三本の柱を堅持し、昨年十二月の町議会で長浜町総合エネルギー基地建設基本構想が議決され、これの実現にむけて強力に推進している。この構想の実現なくしては本町の発展は望み得ないと確信している。その為にも、この構想を実現すべく、全力を傾注して豊かで魅力あふれる新しい町づくりを推進する決意である。



施政方針を述べる二宮町長

中立、公正な立場を堅持し、綱紀を肅正し、住民の信頼を得ることが不可決であり、勇氣と英断を持って事に対処しなければならぬ。

八二年は長浜町にとって極めて重大な年であり、その責任を十分認識し、厳しい環境に対応するため、議会の皆さんのご協力と、町民各位のご理解、ご協力を得ながら地方自治の原点をみつめ、自らの姿勢を正して、皆さんと共に力強く推進してまいります。

#### 第二次開発事業の実現

昭和四十五年第一次開発事業として、臨海工業開発に着手し、昭和四十七年五月に晴海工業団地が誕生したが、当初から予定していた第二次開発事業計画は、その後の経済変動や社会情勢により、やむなく中断した。

しかしながら、第一次産業が現状のような冷え込みをみせ、消費能力が低下し、商業もまた不振を極めている現状と将来を考えてみると、新たな視点から町政の施策全般を練り直す必要があり、当初の第二次開発事業計画を大きく見直し、修正して昨年の十二月、本町百年の大計であり、有史以来の一大事業である総合エネルギー基地建設基本構想が議決された。

内容としては、我が国の資源エネルギー対策と県の地方生活経済圏計画と並んで、西瀬戸経済圏構想に対応しようとするもので、石炭火力発電、LPG石油製品等の備蓄を中心とした備蓄流通基地であり、これらの用地取得は公有水面の埋立工事によって造成取得する。

このような大型プロジェクトを進めるには、適切な環境影響評価を行ない、基本計画、実施計画を作成し、町議会はもとより、住民の皆さんに公表説明して理解と協力を求めたい。

過疎と貧困の町、長浜町を大きく飛躍繁栄させ、豊かな町にするためにも、この事業を遂行させなければならぬものと決意し、西田先生をはじめ、県の指導や協力を仰ぎながら、実現のため最大の努力をする覚悟である。

#### 生活環境の整備

三全総において定住構想により、居住環境整備を進めていくことの重要性が強調されており、地方公共団体の使命は、住民の皆さんが

#### 国内情勢の展望

今日の地方自治体をめぐる諸情勢は極めて厳しく、流動的である。我が国の社会情勢は、資源・エネルギー事情の制約、経済成長の定着化などに加え、国、地方共に大

幅な財政収支の不均衡等大きく状況が変化している。本町においても新しい時代への対応と施策に迫られており、今後取り組まなければならない重要な課題を熟慮して、慎重に対処していく考えである。政治の窮極の目的は、地域住民の福祉の向上であり、住民が満足して生活ができ、豊かで潤いのある

る地域社会を建設することが、行政運営の基本である。そのためには、住民自治の原則に立ち、「住民参加による行政の展開」「地方分権や地方の主体性の確立」が実現されなければならない。

当面する課題として、総合エネルギー基地建設を最重要課題に、生活環境の整備、社会福祉と健康の増進、産業の振興、教育・文化スポーツの振興、行革の推進、水道改良基本計画の整備促進に重点を置き、行政の運営に当たっては、

## 議会・57年度の施政方針

安心して定住できるよう自然環境を保全し、豊かな生活環境や活力ある地域づくりを通じて、福祉の向上を図るところにある。

このためには、生活空間の確保や整備、運動施設、公園、街路、下水道の整備等を積極的に進めていくことが重要な課題であり、計画的に整備を行なっていきたい。

五十六年度においては、町民運動場を整備し、本町商店街のカラゝ舗装を完成させ、商店の近代化を図り、大和地区へ公営住宅十六戸を建設して整備を進めてきた。

五十七年度では、下水排水路等の整備に重点を置き、大和地区へ更に十六戸の公営住宅を建設する予定である。集会所建設についても日ノ浦地区に予定しており、住民の皆さんの要望に応じて建設していく考えであり、コミュニティ活動の場として活用していただくよう配慮している。

本町の道路網の整備については、毎年着々と整備を進め、国道三七八号線の今坊工区は五十六年度で完成の運びとなり、長浜工区についても一部市街地の法線が決定をみたので、今後これらの完成についてはご協力を賜りたい。

県道沖浦大洲線は、長浜中村線として地方主要道に昇格し、今後の改良計画の早期完成が期待されているところである。

上水道の整備については、緊急かつ重要な課題であり、現在のもとは大正時代に新設されたもので施設全般の老朽化が激しく、機能が低下しており、長期展望にたつて見直しを行ない、抜本的な改良



開発事業で整備が待たれる長浜港

計画をたて、その基礎となる改良基本構想並びに計画を策定する所存である。

### 教育・文化・スポーツの振興

近年、科学技術の進歩や社会経済の発展、所得水準の向上等により、学校教育や社会教育の面で一層の充実が望まれており、すぐれた創造性と豊かな情操をもち、心身共に健康な社会に役立つ人材が広く求められている。

教育施設の整備については、喜多灘小学校屋内運動場の建設を行ない、五十七年度は豊茂小学校校舎の改築を計画しており、今後も財政状況をみながら順次充実させていきたい。

文化とスポーツの振興は、住民の意識や価値感が物から心へと変わってきており、自然や地方の美を再認識した文化行政を進めていかなければならないと考えている。

スポーツについては、健康づくりに関する知識の普及や指導者の育成、教育委員会の行なうスポー

### 福祉問題と健康づくり

ツ行事等と連携しながら、体育、スポーツの普及に努めていきたい。

住民の皆さんが健康な日常生活を送れるよう十分な対応ができる体制づくりと、真に福祉を必要とする人々に対して温かい愛の手を差しのべることが基本であり、町の施策としては、健康づくり運動、各種健康診査、健康相談等を積極的に進めてきたところである。

医療体制の整備については、広域消防事務組合長浜支署が設置されて以来、救急患者の搬送等についても万全の体制がとれるようになり、医療施設の医療機器の整備等も予算の許す範囲内において充実させていきたい。

老人の生きがい対策については、老人に憩いと親睦の場、心身の健康づくりの場を提供することを目的に、高齢者コミュニティセンターを建設し、三世代交流の場、母子、身障者等の福祉活動、社会教育など学習の場として、住民の皆さんが大いに活用していただいております。老人パワーが地域づくりに役立つような生甲斐確保のしくみを皆さんと共に考えていきたい。

### 産業の振興

農業については、水田利用再編対策を中心に、農協と連携をとりながら助成を行ない、主幹作目であるみかん農業の振興と経営の安定を図りたい。

林業についても、森林の保全、保護の見地から、松くい虫被害跡地造林対策事業や間伐促進総合対策事業の助成を行ない、しいたけ生産の振興を図りながら、森林組合の経営基盤の確立についても配慮していきたい。

水産業については、漁港の早期完成、整備を旨として、沖浦、喜多、出海、青島の四漁港と、櫛生漁港の局部改良事業を計画している。

沿岸漁業振興の見地から、大型魚礁の設置等を県に強く要望して実現に努力して参りたい。

おわりに

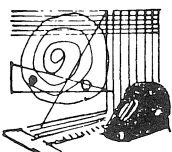
住民の皆さんの要望に応え、行政の役割の明確化と人的、物的資源の効率的な運用により、活力ある福祉社会実現と充実した行政サービスをめざしている行政改革は、本町としても国、県に準じ、支出の節減と事務の合理化を図りながら、機構並びに業務内容を見直し、行政改革推進チームを編成し、慎重に取り組んでいきたい。

たいへん厳しい状況下にあり、議会の皆さん、住民の皆さんも十分ご認識いただいて、ご理解とご協力を賜りたい。

### 議会・予算の使いみち今年度の特徴

#### 全般的な特徴

五十七年度の地方財政については、昨年度よりは更にきびしい財政事情の下で、慎重に各科目を見直し、財政の健全化を基調として、おおむね国、県と同様な方針で編成されています。特に、社会経済情勢や行財政改革に対応したものにするため、



#### 総務費

一般管理・文書  
広報・有線放送電  
話・財産管理・企  
画・事務連絡・生  
活行政推  
進・徴税  
・戸籍住  
民登録・  
選挙など  
のことに  
使うお金

3億3,959万1千円(10.4%)

#### 一般会計

可能な限り徹底して経常的経費の節減をはかりながら、住民生活に直結した各種事業については、財源の許す限り対応してゆく考えを基本としています。

#### 予算の使いみち今年度の特徴

新しい事業や、とくに力をそそぐ事業、前年度当初予算に比べて大きく変化の生じたものなどを「特徴」とし、まとめてみました。(文中の％は、前年度当初予算との比較。一般会計の目的別費目総額の(一)内の％は、同予算の総額に占める同費目予算の割合)

#### 広報モニター制を実施

広報活動を充実するため広報モニター制を実施することにしていきます。

有線放送施設は、大和地区幹支線改修工事などを行なうことにしています。

過疎現象の著しい本町の振興発展を期するため、第二次開発を推進するのに必要な経費、またミニ町勢要覧を作成し、町内全戸に配付する経費等を計上しています。

柴日ノ浦地区に集会所を建設するほか、黒田分館と須沢集会所の「陽だまりの部屋」に備品等を整備します。

町長選挙、県知事選挙の年度となつていするため、その必要経費あわせて五百九十三万七千円を計上。

## 一般会計32億円台

昭和57年度

### 当初予算決まる

昭和57年度の当初予算が次の通り決まりました。(％は前年度当初予算との比較)

【一般会計】32億 6,110万 6千円 (4.3%増)

【国民健康保険特別会計】7億 1,053万 9千円 (13.7%減)

【国民健康保険直営診療所特別会計】1,045万円 (7.9%増)

【住宅新築資金等貸付事業特別会計】6,492万 3千円 (26.4%増)

【港湾施設特別会計】1,022万円(1.0%減)

【簡易水道事業特別会計】3,946万 7千円 (21.4%増)

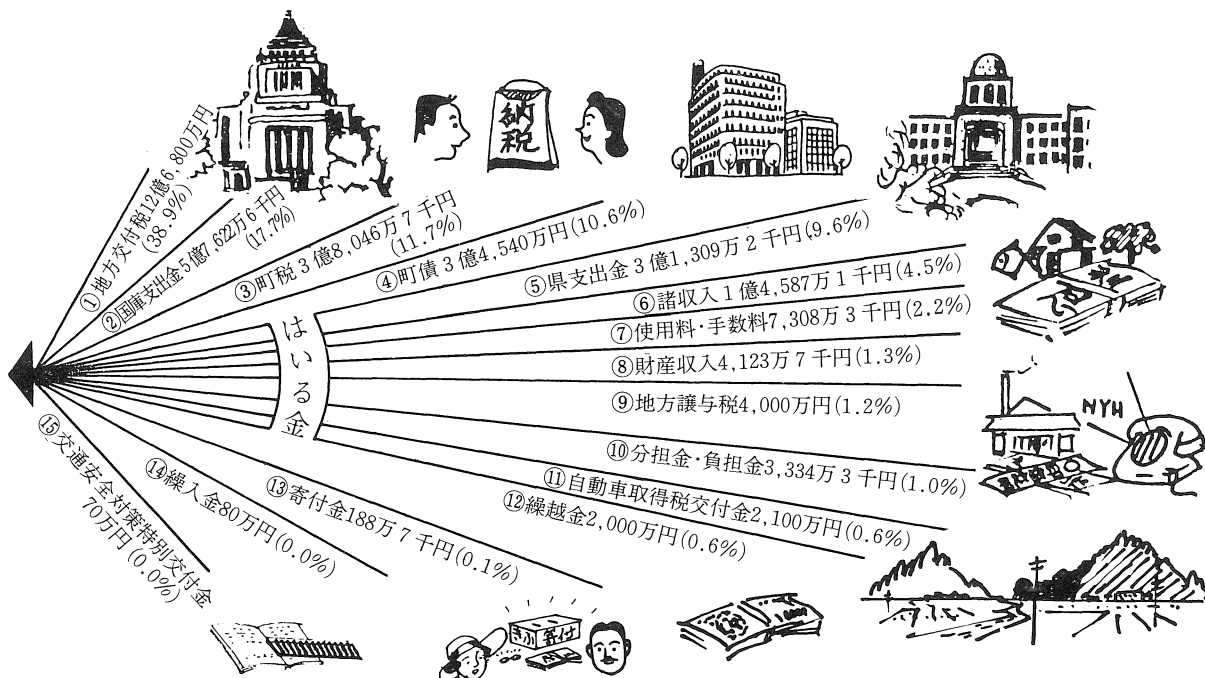
【水道事業会計】収益的收入予定額 6,137万 2千円。収益的支出予定額 6,137万 2千円。資本的收入予定額 8,682万 1千円。資本的支出予定額 9,727万 1千円。

【工業用水道事業会計】収益的收入予定額 2,226万 8千円。収益的支出予定額 2,098万 5千円。資本的收入予定額 3,636万 5千円。資本的支出予定額 4,125万 3千円。

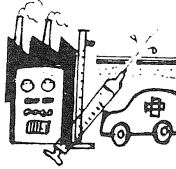
#### た一般会計

#### 円の歳入歳出

4捨5入)  
字は金額の順位)  
占める割合)




議会・予算の使いみち今年度の特徴



**衛生費**  
保健衛生全般・公害防止・汚物処理などにお金の使われること。  
2億8,358万5千円 (8.7%)

敬老会の報償費は、一人当たりの補助金を百五十円増額して千八百五十円に、七十歳以上の方が施術（あんま、はり、きゅう）を受けるときの補助金は一回五百円に増額しました。  
ねたきり老人の介護者が、疾病、出産、事故などやむを得ない理由で、その家庭においてねたきり老人を介護できない場合、一時的にねたきり老人を施設に収容する事業費として十一万二千円を計上しています。  
在宅老人福祉対策事業費などを計上しています。


施術の補助を  
五百円に



**民生費**  
老人福祉・児童福祉・母子福祉・国民年金・生活保護・災害救助などに使われること。  
5億8,193万2千円 (17.8%)

国土調査は、五十六年度豊茂地区の四・一五平方キロを完了、引き続き同地区の五・一三平方キロ口を実施する予定で、必要経費として三千六百九十二万四千円を計上。  
農業振興関係では、生産基盤整備のため農道大屋、黒田線を開設

第一次産業の振興



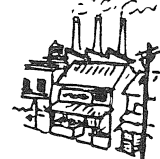
**農林水産業費**  
農業・林業・漁業関係などにお金の使われること。  
5億2,562万4千円 (16.1%)

公害防止のため、水質、大気、魚類の調査を行なうため二百二十八万円を計上。ごみ焼却場の炉修繕費として四百五十万円を計上し、効率的な処理を図ることとしています。  
総額では、三六・九%多くなっています。

成人病検診などの啓もう

健康づくりのため栄養学級、成人病学級、貧血検査、体力測定等を実施すること、結核、成人病検診に対する啓もうに力を入れ、受診率の向上を図るほか、早期発見、早期治療に努めることにしています。

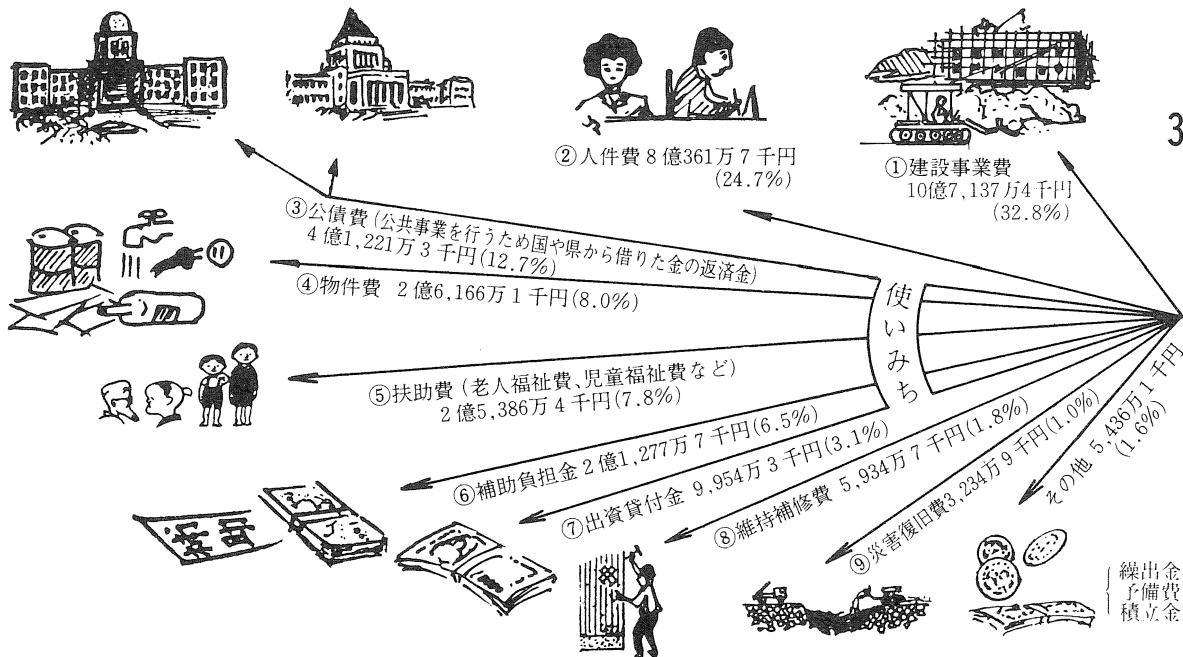
商工業不況対策  
に重点



**商工費**  
商業・工業・観光関係にお金の使われること。  
2,468万3千円 (0.8%)

商工業の不況打開を図るため、商工会の育成補助金の引き上げを行ない、中小企業振興資金の利子補給及び保証料等を計上しています。  
観光については、青島の遊歩道整備費を計上しています。  
総額で前年度より七・八%多くなっています。

性質別に  
32億6,110万6千



議会・予算の使いみち今年度の特徴

### 土木費



道路・河川・港湾・下水道・交通安全施設などにお金のこと

4億7,134万6千円 (14.5%)

### 公営住宅の建設

昨年度に引き続き下須戒に大和団地中高層四階建一棟十六戸の公営住宅を建設することになっています。

町道新設改良では、柿の久保線ほか各所の町道改良、舗装の整備をすることになっています。



### 消防費

防火防災のためにお金のこと

9,496万4千円 (2.9%)

### ポンプ蔵置所を 新増築

消防施設の充実をはかるため、四十立方級級の防火水そう一基(大久保地区)、二十立方級級防火水そう三基(下須戒日野地区、今坊大谷地区、柴白方地区)を設置することにしています。

喜多灘と櫛生分団にポンプ蔵置所を新増築することになっています。小型動力ポンプ積載車を二台購

入することになっています。総額で一九・一%多くなっています。



### 災害復旧費

災害を受けたか所を復旧するためにお金のこと

3,234万9千円 (1.0%)

### 豆柳農道ほか

農業用施設災害の復旧工事、戒川豆柳農道ほかを施工することになっています。

公共土木施設災害の復旧工事は町道朝日・大峯線ほかを施工することになっています。

### 教育費



学校教育・社会教育の全般に使うお金で水族館・公民館・保健体育・校舎建設などの費用も含まれます

4億3,273万5千円 (13.3%)

### 豊茂小の校舎改築費など

長浜小学校の渡り廊下、白滝小学校の土留工事、喜多灘小学校の校舎屋上防水工事、校舎裏排水工事、豊茂小学校の校舎改築工事、

長浜中学校の特別教棟サッシ工事などを実施することになっています。総額では四・八%多くなっています。



### 議会費

議会の運営のために使うお金のこと

5,733万7千円 (1.8%)

総額で八・八%多くなっています。



### 公債費

返済金のこと

4億1,227万3千円 (12.6%)

総額で一三・四%多くなっています。

そのほか、労働費、予備費等が計上されています。

### 特別会計

### 国民健康保険

7億1,053万9千円



今年度は医療費の伸びの低下及び老人医療の別建てなどを考慮し、一三・七%少ない予算を計上、医療費の通知、疾病予防対策に重点をおいて健康増進を図ることになっています。

### 国保直診

1,045万円



累積赤字の解消のため五百万円を計上、単年事業赤字百七十五万二千円を一般会計から繰り入れて、総額で八・四%多くなっています。

### 住宅新築資金貸付事業

6,492万3千円



本年度は、新築五件、改修五件、用地取得一件の希望がある見込みです。総額で二六・四%多くなっています。

### 港湾施設

1,022万円



港湾センターで塗り塗装替えを行なうことにしています。総額で前年度より〇・九%少なくなっています。

### 簡易水道

3,946万7千円



今年度は簡易水道施設の見直しを重点的に行なうことにしています。青島簡易水道、出海簡易水道改良工事の建設改良費として二百八十八万円計上しています。

### 水道事業

(頭書の通り)



赤水対策を重点的に行ない、大和橋水管橋架設工事、配水管布設替工事(五か所)の建設改良費として八千七百三十二万円を計上しています。

### 工業用水事業

(頭書の通り)

大和橋水管橋架設工事の請負費などを計上しています。

### 集団間伐促進事業 林業改善資金の貸付け

昭和五十六年度から国の要綱に基づいて、県から間伐促進重点市町村として本町も指定を受けて、集団間伐促進事業を昭和六十年年度まで実施することになっています。

【採択基準】

- 自然条件などからみて、一体として間伐を実施することが必要と認められる区域であること。
- 一ないし数個の林班からなる小流域内にあること。
- 一集団間伐団地内に集団的な間伐を計画的に実施する緊急間伐対象森林(十六〜二十五年生)がおよそ五割以上あること。

【補助率】知事が別に定める事業費(五十六年度はヘクター当たり九万一千六百円)の五分の四以内。なお詳しいことは、農林水産課または森林組合へお問い合わせください。

# 所定集会所を 集会所を 教育集会所 教条集会所 設置集会所 社設集会所

このたび今坊地区に今坊集会所ができたことにより、長浜町立社会教育設置条例が制定されました。

この集会所は、荷捌所と合併施行したもので、地域改善教育のための集会所であり、本年度から文部省の委嘱事業である年間二百四十時間の集会所指導事業を実施するものです。

## はり、きゆう、マッサージの補助は五百円に

老人保健の向上と福祉の増進を図ることを目的とした、老人に対してのはり、きゆう、マッサージの補助は、施術一回につき、条例の一部を改正して五百円になりました。

## 育児手当金千円に

国民健康保険条例の一部改正

被保険者が出産した場合、育児手当金として六か月間、一か月につき五百円支給していたものが、条例改正によって、四月一日から千円支給することになりました。

## 奥地区共同給水施設を追加

豊茂の奥地区に建設が進められ

ていた奥地区共同給水施設が完成し、簡易水道事業施設及び飲料水供給事業施設の設置並びに給水に関する条例が改正され、給水人口四十八人、一日最大給水量九・六立方メートルが追加されました。

## 離島振興法延長に関する決議書を採択

離島振興法は、離島住民の精神的な支えであり、島民生活の安定、向上を図るとともに、真に国民経済に寄与するためのものであり、この法は五十七年度末で期限切れとなります。

このため、離島振興法の延長は、有効期限は最低十か年とし、現行の内容を堅持することなどの決議書が受理採択されました。

## 固定資産評価審査委員に

## 上田重喜氏を再選任



長浜町固定資産評価審査委員会委員・上田重喜氏（長浜）は、

三月三十一日、同委員の任期が満了のため、町長は後任委員に長浜二〇区の上田重喜氏（五〇）写真を再選任、議会の同意を求めた結果、万場一致で同意され、ひきつづいて同委員に決まりました。

同委員は、固定資産課税台帳に登録されたことについて、不服や異議の申し立てがあったものについて審査し決定するのが任務

任期は三年で、定数は三人。委員は次の方々です。

戒川の徳田平八郎さん▼出海の藤井嘉友さん▼長浜の上田重喜さん。

## 議員報酬、三役・教育長給与を改正

昨年の四月にさかのぼって改正された一般町職員給与との不均衡を是正するため「長浜町議会議員等の報酬、費用弁償及び期末手当支給に関する条例」「長浜町長、助役、収入役給与条例」の一部をそれぞれ改正、ことし四月一日から報酬や給与月額を次の通り改めることになりました。

なお、この改正に当たっては、さる二月十二日に特別職報酬等審議会の審議を経ており、同審議会の答申に基づいた改正となっております。（）は改正前の額。

【町議会議員報酬月額】議長 11万六千二百円（15万三千円）▼副議長 13万八千円（13万一千円）▼議員 12万七千円（12万円）

【町三役】町長 50万八千円（48万八千円）▼助役 41万五千円（39万九千円）▼収入役 38万五千円（36万五千円）

また、同じ理由により「長浜町教育長給与条例」の一部も改正され、教育長の給与月額が次の通り改められました。

【教育長】三十五万九千円（三十四万四千元）

## 特別職、教委、農委の報酬額も改正

常勤特別職や他町村同職との均衡などを保つため、長浜町特別職員、長浜町教育委員会委員、長浜町農業委員会委員の「報酬および費用弁償条例」の一部をそれぞれ改正、ことし四月一日から報酬および費用弁償額を次の通り改めることになりました。（）内は改正前の額。

【監査委員報酬月額】議員から選任された委員 15万六千円（14万八千円）▼知識経験委員 18万八千円（17万九千円）

【選挙管理委員会委員報酬月額】委員長 3万八千円（3万六千円）▼委員 3万三千円（3万一千円）

【教育委員会委員報酬月額】委員長 20万（19万9千円）▼委員 17万八千円（16万九千円）

【農業委員会委員報酬月額】会長 15万六千円（14万八千円）▼会長代理 14万四千円（13万六千円）▼委員 13万二千円（12万四千円）

## 白石農道の復旧

## 56年度一般会計補正(専決)

県から事業費の追加割当があり、特に復旧が急がれる出海の白石農道を実施するため百三十五万六千円を計上し、県補助金と予備費をあて百二十九万六千円を専決補正しました。

## 異常寒波被害補助など

## 一般会計補正

五十六年度一般会計予算に、今回四千五百四十五万三千円を減額補正、当予算会計の総額は、三十五億七千四百四十一万三千円となりました。

補正した予算のおもな使いみちは次のとおり。

総務費 有線放送施設自動交換所の調整及び清掃のために三十八万円。生活行政推進費の百二十八万円の減額は、高齢者コミュニティセンター陽だまりの部屋設置に伴う備品購入費の不用額と、橋立上地区テレビ共同受信施設事業が不採択となったため。

民生費 地方改善事業での橋立浜地区に建設予定であった住宅の施行が困難となったために四千八百三十一万円を減額補正。

衛生費 大洲喜多衛生事務組合負担金四百五十二万四千円。水道事業会計への補助金五百万円。貸付金として、水道事業会計へ四百万円、工業用水道事業会計へ二百万円。簡易水道事業特別会計への繰出金百九十九万円。

農林水産業費 異常寒波被害対策事業費補助金五百十五万二千円。本年度に施行した作業林道の開設補助金二百二十七万三千円。

商工費 県単街路灯新設事業が不採択となったため三十万八千円を減額補正。

土木費 町道新設改良費の立木補償五十八万八千円。

教育費 長小プールの入札減少金百五十万円。スクールバス購入による不用額百五十一万七千円。今坊集会所の工事請負費八十一万円を減額補正。

## 一般質問

五十七年町議会第一回定例会では、大本春明氏、和田永吉氏、津田龍雄氏、二宮英二氏、田中定幸氏が質問を行いました。おもなものの内容は次の通り。

### 地場産業の育成は積極的

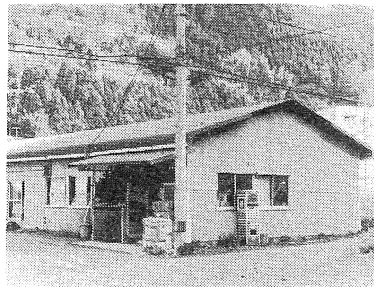
〔過疎対策の見直し〕

大本議員：農村部において、結婚しても住宅不足のため、地区外へ転出する人が多く、活力ある若者の定住者は減るばかりであるが、この実態をどのように認識しているか。対策のひとつとして集中的に行なわれている住宅建設も、地域の実情に即して変更する必要があると思うが、どのように考えているか。

定住者確保のため、地場産業の育成強化が必要だと思うが、このことについてどう考えているか。

二宮町長：町内における各集落の過疎現象は進行し、若者層の流出はとまらないため、これを防ぐための一助として、大和地区に公営住宅十六戸を建設し、今年度も引き続き同規模の公営住宅を建設する計画である。今後は、ご指摘の点を考慮し、集落毎に均衡ある人口定住が図られるよう、国、県の指導を得ながら検討していきたい。集落毎の定住人口と雇用機会の確保については、昭和四十四～五十七年に誘致した企業が各地に立地操業されており、最近では仁久に中子電気が、また現在、晴海にライ

ジング飯田株が工場建設に着工している。徐々に企業立地が進んでおり、過渡期における企業立地と働く場所づくりに努め、地場産業の育成、指導、また企業誘致には積極的に取り組みたい。



下須成に誘致された篠原縫製工場

### 開発事業で児童数の増加

〔長浜の教育基本姿勢〕

大本議員：校内暴力の問題については、前の議会でも対策が示されたが、教師が校区内に定住し、日常生活の中にとけ込んで、家庭と教師と児童の心のつながりの中で教育が行なわれるなら、現在のような問題も少ないと思われる。教師の方に協力を求めて、校区内居住の運動を進めていけば必ず成果が上がると思われるが、どのよ

うに考えているか。

従前より小学校については、統合はしないということであったが、現在もその方針に変わりはないか。また、児童数の減少で複式授業が行なわれている学校が五校あるが、この現実をどう受けとめて、対策をどうするのか。

教育機器や施設の充実について、現在では中心校が優先されている感じがするが、周辺の小規模校が第二の青島小学校とならないためにも、思い切った政治的配慮が必要だと思うが、どう考えているか。

日田教育長：住宅の普及、生活様式の変化に加え、自家用車の普及に伴う道路網の整備、交通機関の発達等により、校区内に居住する教師が少なくなっているのが現状であり、各小学校長を通じて協力要請を行ないたいと考えている。また、教職員の資質の向上、生徒指導の徹底を十分に進めて参りたい。小学校の統合は現在のところ考えていない。

児童数の減少については、単にこの問題だけでなく、現在進められている臨海工業開発事業を進めることにより、人口の増加、収入の安定を図って、中心部にかたよらない児童の増加を検討し、複式学級の解消に努めていきたい。教育施設の整備については、理事者と協議を進めながら、逐次整備を進めており、プールについては山間陸地部を優先的に整備をしてきており、校舎や屋体については、整備のできる条件をそなえたところから順次整備を進めて参

### 近隣町村との均衡を配慮して

〔保育所の運営〕

大本議員：昭和五十七年度の入所希望者は、豊茂保育所を除いて定員不足と聞いているが、その対策をどう考えているか。その対策として、保育料の見直しと保育時間を五時まで延長すれば、多少園児も増加すると思うが、どう考えているか。

二宮町長：保育料の改定並びに保育時間の延長については、議会の要望を受け、検討するよう担当課に命じており、近隣市町村との均衡も配慮しなければならぬため、現在、その実態、傾向について調査している。

原案がまとまれば、議会に相談したいと考えているのでご理解いただきたい。

### 商工会の育成強化

〔商工業者の育成〕

大本議員：経済不況と大型店進出が決まっている現在、町外への流出をいかにくい止め、消費者が求めている良い品物を安く提供できるかという原点にたつての対策と指導が、商工業者の体質改善とあわせて急務だと考えるが、どのように考えているか。

二宮町長：若年層の町外流出防止や雇用機会の増加を図るため、

開発事業を推進していかねばならないが、先ず商工会の育成強化が先決である。

大型店に負けないだけの商店街づくりを目指して、店主の意識改革と店舗の改装美化など町民のニーズに応えていただく商法が必要であり、基盤整備事業や商工会の指導援助は許せる限り対処し、努力したい。

### 公正を期して運用を

〔公共事業の入札と談合〕

大本議員：全国的な問題となっている公共事業施工に当たつての談合入札やゆ着問題は、本町においても身近な問題として関心が高いと思われるが、公共事業実施に当たつての設計、施工に問題はないか。

二宮町長：本町では従来から厳正、適正な運用を図っており、公正を期しているが、今後更に国、県の審議過程や検討状況を分析しながら、実効のあがる入札制度のあり方を慎重に検討していきたい。

### 皆さんのご支援を得て再度出馬を

〔政治姿勢〕

大本議員：昨年十二月の構想の議決でも、政治生命をかけてこの実現に努力すると決意を伺っているが、九月の町長改選に当たり、自らの力で町民の協力を得て、範を示す意志があるのか、ご明示を願いたい。

二宮町長：長浜町は今、たいへ



ん大切な時期であり、総合エネルギー基地を中心とする町づくり、政治生命をかけて努力するつもりである。九月の町長選挙には、再度出馬させていただき、町政を担わせていただきたいと思う。

### 五十八年度から 工事の着手を

～水道問題～

和田議員：水道の問題については、再三議会でも論議され、本年度において改良基本構想を策定するというところであるが、その構想はいつごろできあがるのか。

現在ある脇川の伏流水からの取水に問題があるのではないかと、今後は水源は脇川水系のみ求めてゆくのか。また、古い配水管の布設替え等改良工事はいつになれば終了するのか。

各地に点在している簡易水道も配水管や水源等で問題があると思うが、上水道改良の基本構想の中で、その水源を上水道に求め、接続させることによって、整備を図ることが、より経済的であり、施設も安全性に富んだものになると思うが、どのように考えているか。

青島の水道は、最近たいへんな維持経費がかさみ、抜本的な改善策という声もでてきているが、現状はどのような状態になっているのか。

一方そうした施設に見切りをつけて、青島丸で水を送る方法は考えられないか。船舶による供給を検討してやるならば、船体の改造費はどのくらい考えているか。

二宮町長：基本構想については

現在立案中であり、基本計画は十月下旬には完了するようコンサルタントに委託し、昭和五十八年度から工事に着手したいと考えている。現在の施設で配水管の更新については、昨年に続いて本年も約二千円、金額で五千万円を投じて布設替えを行ない、整備をする予定である。

簡易水道についても、基本構想策定の中で上水道への統合を考えている。水源については、脇川水系の利用を考えているが、一部の簡易水道については、大和川水系の利用も並行して考慮していくつもりである。上水道も従来の簡易水道も共に整備していくため、最大限の努力をするつもりである。

青島の飲料水供給については、現在設置しているプラントは初期のものであり、電力料金の値上がり等で、約八百万円の赤字をだしている。青島の必要給水量は一日平均十二・五トであり、夏のピーク時で約三十トである。定期船「あおしま」で一回約十五トの水を搬送し、給水することを検討している。所要経費は、船体改造約三百万円、青島での受水、送水、滅菌処理等合わせて約千五百万円程度であり、これらについて県費助成をお願いしている。

### 公共事業は早期 発注を

～不況対策～

和田議員：不況対策については県議会でも論議されており、不況の構造が世界的、全国的であるが、

町自体で対応できる分野においては積極的に対処してゆかなければならないと思う。そのために公共事業を早期に発注施工し、景気浮揚を考えているか。

また、雇用安定のため、何らかの対策などを検討しているか。

二宮町長：国においては対策の一環として、公共事業の七五％の前倒しを打ち出しており、本町も五十七年度に計画中の公共事業は見直しを行なって、極力早期発注するよう期待に込めたい。

現状のようにすべての産業、経済が冷え込んでいる中で雇用安定は難しいが、公共事業の前倒しなどによって徐々に解決していきたい。

### 森林組合と協調 して推進を

～林業振興と松くい虫対策～

和田議員：本町の林業農家収入のうちで、約六割を占めている椎茸も、価格、量ともに低迷しており、椎茸栽培についての対策は、林業振興の上でも大切であると思



長浜特産のしいたけ産業

うが、どのように考えているか。杉、桧等良い原木を多量に生産するために、技術と経営の改善が必要であり、その指導援助方をお願いしたい。

森林組合が事業主体となり、県の補助対象事業である間伐促進総合対策事業を実施しようとしているが、この件についてどのように考えているか。

松くい虫による被害で、伐採不可能面積が約三百六十畝ほどあるが、これらの枯死した立木伐採並びに整地事業も、国や県の助成により実施しようとしているが、町として、松くい虫対策と助成についてどのように考えているか。

二宮町長：椎茸生産については森林組合で研究討議されており、町としても生産基盤整備事業を継続実施し、新規の施策については、森林組合と協議し、総合町政の中で可能な限り取り入れるよう努力したい。

県では間伐促進総合対策事業を設定し、昭和五十六年度に本町もその指定を受け、五か年間で百畝を対象に集材機を導入し、森林組合の労務班によって計画的に間伐を実施することにしており、森林組合と協調して積極的に推進していきたい。

松くい虫対策については、治山、治水、森林緑化など国土保全対策として、昭和五十四年度から町単独で助成処置を講じ、被害林の跡地には、椎茸原木の補完用として櫟(くぬぎ)の造林をするように種苗の助成をするなど指導推進している。

### 駅前は五十七年 度から着工を

～国道三七八号線改良工事～

津田議員：国道三七八号線の改良については、双海工区は進展せず、長浜住民の願いである松山市までの二車線道路完成は、いつになるのか憂慮しており、双海工区の改良の概要について伺いたい。

晴海から旧町の長浜警察官派出所までの国道は幅員が狭く、このルートについては、どのように県と協議し、計画されているのか。また、いつ頃完成するのか。

沖浦から出海までの間で、須沢から約七千坪の改良計画はどうなっているのか。

道路改良に並行して人家のある場所では、消波ブロックが設置されているが、それ以外のところでは高潮のため被害が発生しており、この対策のため、消波ブロックを設置するよう、国、県へ強く要望していただきたい。

二宮町長：双海工区については、聞くところによると一年間中断していたが、現在は施工している。未改良延長は約七キロメートルであり、工事の進め方は、上灘を起点に松山側、長浜側を同時に施工する計画のようである。

駅前ルートについては、専門的に県において検討がなされ、その計画によると、臨海道路側の明閑氏宅前を通り、喜多鉄工所、矢野元氏宅前から喜多石油へ通じる現道拡幅を基本としたものであり、五十七年度から着工の予定である。

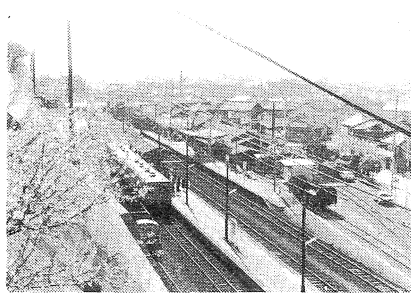
沖浦へ出海間の完成については、昭和六十年度を目安に努力をする所存であり、ご協力をお願いしたい。

高潮対策については、緊急度の高い地区を継続して実施しており、要望のか所については、建設省所管であり、機会あることに要望し、実現に努力したい。

### 関係機関に陳情

内山線開通に伴う対応

津田議員：内山線は昭和五十九年度開通をめざして工事が進められており、開通によって現路線のローカル化、急行の廃止、間引き運転等になるのではないかと心配しているが、この問題にどう対応し、どのような方針で望むのか。



長浜駅に迫る内山線開通に伴い

二宮町長：このことについては、昭和五十一年以来関係機関に陳情しており、開通後も著しい間引き運転等されないよう、四月上旬高松総局へ陳情する予定にしている。通勤、通学者や長距離利用者に不便をきたさないように、また、

貨物取扱駅の廃止をしないよう対応していきたい。

お互い住民が国鉄を利用することも対応の一つであり、ご協力をお願いしたい。

### 農業諸団体と提携して

農産物の自由化問題

津田議員：最近新聞、テレビ等で報道されている、アメリカとの貿易摩擦による農産物の自由化について、農協や青果連においても対応に迫られており、自由化されると第一次産業に与える影響は図りしれない。このことに対してどのように対応するのか。

二宮町長：町としては、政府を信頼し、成り行きを見守りながら県や農業諸団体と提携して運動を進めると共に、議会とも協議をして適切な対策活動を展開していきたい。

なお、農業振興を図りながら、兼業化した農家の収入増を考慮していきたい。

### 答申を待つて行革を推進

行政改革に伴う町行政

津田議員：国においては行政改革が着実に進められており、本町でも影響を受けると思うが、これに対してどのように対応し、行政改革に取り組んでいくのか。

二宮町長：臨時行政調査会の答申を踏まえ、今年の七月ごろ決定方針を打ち出すということであり、

本町もこれを持って本格的な行革に取り組みたい。

準備態勢として、行政改革推進チームを設けて検討を進めて参りたい。

### 連携を強化し、水産行政を

沿岸漁業の振興

二宮議員：わが国の漁業は、二百海里水域時代の到来により、内海漁業は窮地におち入り、国においても沿岸漁業の見直しを行なっているが、本町もほとんどが沿岸漁業で、零細であり、国、県の指導を仰ぎながら、大型魚礁を設置して沿岸漁業の振興に努力してゆべきだと思いが、どのように考えているか。

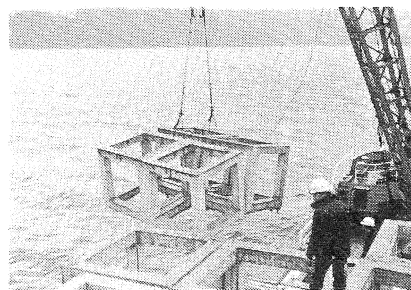
二宮町長：国、県の指導援助は絶対必要であり、県営の大型魚礁の設置については、西田先生のお力添えをいただいで、県に陳情書を提出している。昭和五十七年度に新沿岸漁業構造改善事業を設定し、計画に要する経費を計上している。

県においては、西瀬戸経済圏構想推進の一環として水産機構の強化策が講じられ、本町も連携を強化し、水産行政を進めていく考えであり、ご理解いただきたい。

### 第七次漁港整備計画で改修を

漁港の早期完成

二宮議員：漁港は生産の基盤であり、漁港なくして漁業の生産向



沿岸漁業振興のための魚礁設置

上はあり得ない。財政困難な時期であり、むつかしいと思うが、この漁港が一日も早く完成するよう努力することを望むものであり、このことについてどのように考えているか。

二宮町長：このことは、町行政の重要課題の一つとして年次計画に基づき、整備を図っており、緊急度の高いものを第七次漁港整備計画として、国、県へ陳情した結果、喜多、沖浦、出海、櫛生各漁港の改修、改良事業が認定される予定である。

五十七年度事業については、各漁港工事に予算を計上して、早期完成に努めており、ご理解とご協力をお願いしたい。

### プロジェクトチームで対応を

開発基本構想の進捗状況

二宮議員：政治生命をかけて、開発に取り組んでおられると聞いていますが、この基本構想が今日までにどの程度進んでいるのか。具

体的なことがあれば公表していただきたい。また、今後の見通しとして、いつの時点で公表できるか。

二宮町長：昨年十二月の定例議会でご議論いただいた後、一月上旬に県知事、副知事をはじめ県主脳部へ議決報告と今後の指導を要請している。

また、国関係の機関である松山海上保安部などへも指導方をお願いしている。

基本計画作成については、諸般の事案が整っていないので着手していないが、二月一日付で助役をチーフとした町職員十六人によるプロジェクトチームを発足させ、今後対応できる態勢にしている。

### 大洲市と協議して改良整備を

身近な県道問題

田中議員：県道沖浦へ大洲線がこのたび主要地方道に昇格し、路線名も長浜へ中村線として変更されたが、この改良促進ははかばかしくない。改良工事を促進させるため、大洲市とタイアップして進めていくべきだと思いが、どのように考えているか。

長浜へ保内線で、現在大和橋が改良されているが、いつ頃完成するのか。

下須成から豊茂に至る間は、観光道、産業道、生活道として効用の高い路線であるが、この区間の改良工事は今後どのように進めていくのか。

大洲へ長浜線で、五郎駅前付近から五十六号線に通じる未改良区

間についての改良計画はどのよう  
なっているのか。早期改良促進  
を図るために、大洲市と県道整備  
促進協議会のような組織を結成し  
てはと思うが、どのように考えて  
いるか。

白滝と柴を結ぶ二本の橋は、存  
続して全面改良してもらうことを  
強く望んでいるが、どのように考  
えているか。

二宮町長：県道長浜～中村線は  
四月一日の告示をもって正式に認  
定される予定であり、補助なども  
優先的に整備されることになるの  
で、大洲市と協議して、早期に改  
良整備に努めたい。

正面橋から大和岡地前までは、  
県において計画丈量済であり、諸  
条件が整備できれば、五十七年度  
で特殊改良一種事業として、正面  
橋から奥は県単または特一として  
改良される予定である。また、大  
和橋は、五十七年度完成の予定で  
ある。

五郎駅付近が未改良のため、交  
通が渋滞しがちであるが、この区  
間は建設省の堤防計画があるため、  
堤防築造に合わせて家屋の移転、  
道路の付け替え等が必要であると  
聞き及んでいる。また、建設省で  
は、関係者に対し説明を行なって  
おり、その問題が解決すれば道路  
改良も進むものと思う。

白滝と柴を結ぶ二本の橋は、生  
活道として利用されており、基本  
的には二本とも残して、改良もあ  
わせて行ないたいと思う。

今後建設省と協議し、町道とか  
上水道関係施設と共に、十分ご要  
望に応えるよう努力したい。

### 観光資源を見直し、計画を立案

観光開発

田中議員：金山出石寺に通じる  
長浜～保内線のほかに、刈屋から  
出石寺に通じようとしている路線  
で未開通の部分があるが、これは  
何年計画で通じることになるのか。  
五十七年度の事業費と事業量はど  
のくらいか。

白滝を始め海水浴場、不動滝等  
における各施設はどのような計画  
で整備、拡充されるのか。

本町には、瀬戸内海国立公園に  
指定されている青島を始め、白滝、  
沖浦海水浴場、金山出石寺、沖浦  
観音等さまざまな観光資源がある  
が、これらをどの様に保存し、ま  
たどの様に活用していく計画があ  
るのか。

運動公園は、二次開発事業の中  
で検討するように聞いているが、  
町の地勢等を活かして、白滝と戒  
川の中間地点に設置するのが最適  
だと思う。白滝と運動公園までの  
道路を遊歩道で結び、車道は現道  
を改良して離合場所等を設置し、  
田ノ淵から不動滝へ通じている町  
道などを改良すれば、理想的な運  
動公園ができると思うが、このこ  
とについての様子を聞いているか。

二宮町長：刈屋から出石寺に通  
じる路線については、四～五年計  
画で改良することにしており、五  
十七年度事業として県単林道開設  
事業で、約百五十坪、八百万円く  
らいで施工することになっている。  
白滝公園については、子供の国

から上流にかけて百五十坪から二  
百坪の遊歩道を新設したいと考  
えている。なお、本町の観光資源全  
体を見直し、公園計画を立案した  
いと考えている。

沖浦海水浴場の施設は、国や県  
の指導援助と地元漁業協同組合員  
の協力をいただき、砂浜や海浜の  
整備を行ない、近い将来恒久的な  
ものにしたいと考えている。

不動滝については、愛大の村上  
節太郎先生に観光診断をして頂い  
ており、十か年計画で遊歩道、橋  
などを順次設置したい。

本町には、国、県指定の有形、  
無形文化財をはじめ、数多くの物  
があり、貴重な財産であるので、  
所有者や管理者、教育委員会と密  
接な連携を図り、保護、保存しな  
ければならないと考えている。ま  
た、生きた観光資源として広く、  
積極的に活用したい。



11面観音像が保存されている沖浦観音

運動公園は開発と関連して設置  
したいと考えており、その時期と  
具体的な施設内容については、国、  
県の補助事業の導入の問題等、諸  
般の調査・検討を要するので、も  
うしばらくお待ちいただきたい。

### 5月1日から 土曜日の業務 は昼までに 町役場

四週五休制の試行

昭和四十七年に隔週週休二日制  
を施行して以来、土曜日終日業  
務を行なって参りましたが、国に  
おいては、四週五休制(四週間の  
土曜日のうち、一回だけ四分の一  
の職員が休み)が試行され、県内  
のほとんどの市町村でも、土曜日  
の業務は昼までとして実施してい  
ます。

本町においても、五月一日から  
土曜日の業務を昔のように昼まで  
として、皆さんに対応することに  
なりました。

この制度の試行について、ご理  
解いただき、ご協力いただきます  
よう宜しくお願い致します。

### 水道課が元 の法務局へ 移転

4月から

上水道については、皆さんにたい  
へんご迷惑をおかけしております  
が、皆さんによりよい飲料水を保  
給し、水道業務を更に充実させるた  
め、四月から水防倉庫の二階で業  
務をとっていた水道課が、元の法務  
局(役場の隣り)の一階へ移りまし  
た。有線電話の番号は二〇九一・

二〇九二でかわっております。  
来庁されて分からないことがあ  
りましたら、職員にお気軽におた  
ずねください。

### 広報モニター制実施

八人に委嘱

「広報ながはま」に関する皆さ  
んの意見、要望などを組織的、継続  
的に聞くことよって、町政に対  
する皆さんの意向を把握し、町政  
の効率的で合理的な運営に役だて  
るために、今年度から広報モニター  
制を実施することになりました。  
任期は一年。委嘱した人は次の  
通り。

- 【長浜地区】武元幸子▽黒田正九郎
- 【今坊地区】伊藤ヨシ子
- 【櫛生地区】有友忠憲
- 【出海地区】田丸由香里
- 【大和地区】川田充義
- 【豊茂地区】西山和夫
- 【白滝地区】大野修

### 献血手帳が 変わりました

57年4月1日から

昭和五十七年四月一日から発行  
している献血手帳の供給欄がなく  
なり、誰でも安心して輸血が受け  
られるようになりました。

献血は、健康な人たちが、見も  
知らぬ患者さんのためになんの代  
償もとめず、だれの強制も受け  
ず行なう善意の行為です。

しかし、これまで輸血量に見合  
う献血手帳を用意する必要が、多  
くの地域でありました。そこで、  
献血の理念に基づいて、またこう  
した患者さんの負担を軽減する意  
味からも、四月一日から献血手帳  
を医療機関に提出する必要がなく  
なり、誰でも安心して輸血が受け  
られるようになりました。

# 長浜町職員録

## 59人が異動 4月1日付けで 水道課長に丸山

憲博童  
重孝  
宮田居  
二門土  
長役  
町助  
収入役

うち建設課長補佐だった丸山  
寿一が水道課長に昇格したほ  
か、振興課企画係長に洲尾計  
邦、農林水産課農業係長に二  
宮正昭、水道課工務係長に植  
杉岳志が昇格しました。  
農林水産課の宮上孝一が臨  
時採用、教育課の岡野勝敏、  
藤井嘉友が社会教育指導員と

町職員の人  
事異動を四月  
一日付けで行  
ない、職務配  
置は次の通り  
となっております。  
今回の異動  
者は総数で五  
十九人。この

### 総務課

課長 上田 邦彦  
主幹 久保 弘  
課長補佐 藤沢 豊彦  
山下 国広

### (庶務消防係)

係長 中野 健蔵  
主事 都築 住江  
技手 成田 信重  
書記 楠野 茂利  
上地 末子  
嘱託 稲垣美恵子  
東 ツキエ

### (企画財政係)

事務専門員兼係長 山本 勝延  
書記 松岡 陽規  
垣見 正志

### (管財係)

係長 叶本 清正  
書記補 窪 清一

### (文書係)

事務専門員兼係長 平見 朝子  
主事 横道 里見

### (広報有線係)

係長 山下 一仁  
技術専門員 大野 泰俊  
技手 熊本 真弓  
書記 大本 昭裕  
技手補 三浦 直重  
菊地 直美

### 税務課

課長 小川 平  
課長補佐 石住 武俊  
(住民税係)  
(兼)係長 石住 武俊  
書記 小西 貫一  
亀田 稔

### (固定資産税係)

係長 平田 友幸  
書記 宇都宮芳文  
稲田 宏

### (収納係)

係長 政所 友邦  
書記 橋本 初子  
三秋レイ子

### 住民課

課長 酒井 義禹  
課長補佐 山崎 一義  
木下 保利

### (同和对策係)

(兼)係長 木下 保利  
書記 久井 一

### (福祉施設係)

(兼)係長 山崎 一義  
書記 大橋 京子  
保母 河内 厚子  
佐竹千恵子  
鈴木 朝子  
岡 志喜子

### (福祉・年金係)

係長 山根カヨ子  
書記 滝内 仁  
大国 尚子  
字根やす子  
井上 裕重

### (住民係)

係長 中野 貴夫  
書記 城戸 茂利  
友沢あつ子  
吉田 明美

### 衛生課

課長 波多野 進  
課長補佐 矢野 克

### (衛生係)

(兼)係長 矢野 克  
事務専門員 西本 幸雄  
書記 坂東 敏幸  
看護婦 石本紀美子  
保健婦 一宮 和子  
原間 雅子

### (国保係)

係長 村上 隆志  
書記 浦上恵美子

### (環境係)

係長 下田 健三  
書記 久保田健市

### 農林水産課

課長 石丸 英雄  
課長補佐 大野 智  
中田 晋

### (林業・水産係)

(兼)係長 大野 智  
書記 吉田 直人

### (農業係)

係長 二宮 正昭  
書記 久保 文章

### (農林施設係)

係長 新田 道夫  
技手 森内雄二郎  
宮上 孝一

### (国土調査係)

係長 上田富喜男  
書記 重松 直博  
一宮 義道  
山本 安広

### 振興課

主事 笹本 栄一  
日野 敏子

### (企画係)

係長 洲尾 計邦  
書記 西山 敏博

### (商工係)

係長 上川 慶信  
書記 都築 小富  
菊地 博幸

### (調整係)

(兼)係長 宮田 猛義

### 建設課

課長 真鍋 典秋  
課長補佐 仲田 源一  
久保 博道

### (管理係)

係長 山根 勇一  
書記 宮下紀久重  
清水 俊三

### (建築・都市計画係)

(兼)係長 仲田 源一  
技術専門員 久保 博昌  
技術専門員兼係長 佐々木晋一  
技術専門員 西田 孝  
技師 菊地 洋一  
技手 三秋 敦司  
山本多喜男  
岡田 好光  
戎 徹

### 会計室

室長 上川 万敏  
事務専門員 平田 豊子  
宮岡 亀古  
久保美恵子

して四月一日付けで採用され  
ました。  
また、白滝保育所主任保母  
の永尾弘子、教育課社会教育  
指導員の久保七郎、畑山伊佐  
夫が三月三十一日付けで退職  
しました。

### 水道課

課長 丸山 寿一  
課長補佐 大元 宗一

(庶務・工業用水道係)

係長 田中 宏幸

書記 松本伊代子

技手補 藤本 修二

(工務係)

技師 植杉 岳志  
技師 森川 純行  
技手補 谷上 真悟  
嘱託 沖野 利雄

### 教育委員会 教育課

教育長 日田 稲生

課長 池上 昭夫

課長補佐 渡辺 敬

(総務係)

係長 和田 正義

(学校教育係)

書記 渡辺 敬  
書記 大本みつ子

(社会教育係)

係長 上満 治雄

社会教育主事 菊地 邦求  
中央公民館主事 矢野上和雄  
嘱託 菊地 英夫  
岡野 勝敏  
藤井 嘉友  
久保カツミ

### 議事事務局

局長 高橋 亮  
書記 松本 治子

### 老人ホーム

園長 友沢 敏  
園長補佐兼生活指導員 隱岐 龍法

書記 城戸 広美

看護婦 平田由美子

主任寮母 大野 良子

寮母 清水 藤子

主任調理員 富岡トシコ

調理員 一宮トモエ

嘱託 清水 愛子

主任調理員 松本 和重

調理員 永木喜美子  
山中イチエ  
一藤 豊  
久保田幸子

### 連絡所

(喜多灘連絡所) 小林 吉安

(榊生連絡所) 藤本 富雄

(出海連絡所) 清水 康則

(相生連絡所) 中田 主助

(豊茂連絡所) 藤岡 章男

(白滝連絡所) 窪 憲一

(兼)主任 窪 憲一

### 港務所

(港湾係) 久保 博道  
書記補 久保 嘉範

### 学 校

(長浜小学校) 寺坂 満子

(長浜中学校) 坂井 英雄

用務員 中谷トリエ

調理員 松本イツミ

嘱託 泉田 松子

### 焼却場

技術専門員兼主任 大野 勇  
技手 浪本 忠則  
嘱託 矢野 覚男

### 診療所

(青島診療所) 赤丸 恵子

(榊生診療所) 高田 美香

(出海診療所) 宝生 房子

(豊茂診療所) 坂田 嘉代

(白滝診療所) 平田美佐子

看護婦 松石 之道

嘱託 三石むめ志

### 水族館

### 公民館

(今坊公民館) 小林 吉安

(榊生公民館) 藤本 富雄

(兼)主事 藤本 富雄

(出海公民館) 清水 康則

(大和公民館) 中田 主助

### 保 育 所

(長浜保育所) 西宮 幸子

主任保母 石川 令子

保母 三好 五月

吹春みね子

矢野 幸子

浪本 満子

(白滝保育所) 山本美智子

主任保母 宮岡 民子

保母 大野ギン子

宮本 邦子

白石 玉子

児玉クミ子

(沖浦保育所) 下田 美澄

主任保母 西田 清子

保母 菊地さと子

沢田 幸子

吉岡とよ子

田丸 富枝

大藤 恭子

田村 恒子

### 隣保館

(豊茂公民館) 藤岡 章男

(白滝公民館) 窪 憲一

(今坊隣保館) 小林 吉安

(榊生隣保館) 藤本 富雄

保母 宇都宮由美子

調理員 鈴木佳代子

保母 笹本 直江

(出海保育所) 玉井 徳美

主任保母 大成 節子

保母 木之本律子

児玉 智代

泉 友江

谷川 俊子

藤淵美枝子

矢野 越子

西山みち子

山本 直美

横山 典子

岡崎美智子

(喜多灘保育所) 山本コトエ

主任保母 池田スミ子

保母 矢間栄津美

上満 裕子

(豊茂保育所) 西岡 房子

主任保母 萩森理恵子

保母 梶本 幸子

清水 郁子


都田 悦子

### 現況届を忘れずに

#### 提出期限は五月末

五月は、国民年金の障害年金、母子年金、準母子年金、遺児年金、寡婦年金を受けている方が「現況届」を提出する時期です。この「現況届」は、あなたや家族の状態などに変化がないか、また、ひき続き年金が受けられるかどうかを確認する大切な手続きです。

もし、提出がなかったり、遅れたりしますと、年金の支給がとまったりすることがありますから、必ず期日までに提出して下さい。詳しいことは、役場年金係にお



**タバコは町内で**

町内でタバコを買っていただいたおかげで、五十六年度は三千七百三十一万七千八百四十円のタバコ消費税が町の台所に入りました。これからもタバコは町内で買ってくださいネ。



波長が合わないと受信はできない。テレビ・ラジオ・電話等ほもち論だが、それら文明の利器にもまして極めて大切でありながら、波長の合わせにくいのが人の心▲宇宙の森羅万象はすべて波動によって成り立っているという。電気に電波、光に光波、音に音波があるごとく、人の心にも念波とか精神波とか、或は霊波とかか兎に角、個々人各様の波動があることに間違いない▲文明機器の受信装置は今ではすべて波長を適正に合わせ固定して、ダイヤル調節などしなくても必ず受信できるように改良されている。ところが人間の心の受信器はどうか。人類百史以来一向に改良進歩の跡は認められないのではないか。波長を合わせて受信するのでなければ、相手の心を正しく認識理解することはできない。最近の人間受信器の乱れは特にひどいようだ。人の心が信じられなければ人生の不幸これに過ぎるものはない▲時は五月、においくる若葉のみずみずしさ、さわやかさ、山ほととぎすの声を聞き、初鱈のたたきでも食べて、せめて自然の心に波長を合わせ、追い追いに人の心を素直に正しく受け取る練習でもしてみるか。それが五月の心というものではあるまいか。

問い合わせください。

### 寄付採納

○昭和五十六年度大和保育所母の会：カセットテープレコーダーを大和保育所へ。

○故小泉元徳代理・喜多郡肱川町の和氣定行さん：温水器ほか(十万円)を老人ホーム白山園へ。

○長浜町漁業協同組合今坊支所：綴帳一式(百四十三万円)演台(七万円)花台(二万三千元)を喜多灘小学校へ。

○故児玉徳五郎代理・児玉俊二さん：書庫ほか(十万円)を老人ホーム施設整備資金として白山園へ。



### 結婚

#### 3月長浜町役場届出分

(敬称略)

住所	氏名	婚姻届時年齢
長黒	新田 定夫	(四一)
大田	山本 善夫	(二五)
浜白	白石 玉子	(二五)

### おめでとう!!

3月届出分(敬称略)

住所	保護者氏名	続柄	児名
沖浦	明智 律夫	二女	博美
長浜	日野 修次	長女	こずえ
長浜	清水 敏宏	長女	春菜
長浜	和田 正幸	長女	万貴恵
長浜	堀井 敏文	長男	太郎
穂積	二宮 裕	長女	広江
出海	畑山真一郎	長男	祥太郎
長浜	上田喜久雄	長女	春奈
沖浦	宮浦 紀壽	長男	孝昌
沖浦	松本 利雄	二女	亜美
下須戒	山口 博	長女	郁恵
下須戒	三浦 進一	二男	昭徳
白滝	橋本 高志	長男	猪久生

(豊大) 岡本 陸生 (三四)

(大洲) 山本 栄 (二一)

(長浜) 河野 清志 (二二)

(長浜) 山崎 靖子 (二五)

### おくやみ

3月届出分(敬称略)

住所	氏名	死亡時年齢
沖浦	新江モ、エ	(八六)
白滝	大塚サトエ	(七九)



### 便利な電話

毎日の暮らしやビジネスに、電話はいまや生活の必需品となりました。電報電話局では、皆様により便利に使っていただくため、いろいろ便利な電話機を用意しております。また、電話についてのご相談に応じますので、お気軽にご利用ください。

伊予長浜電報電話局 TEL 2-0000 番

沖浦 明智 博美 (〇)

豊茂 亀田 四郎 (八九)

下須戒 矢野 久男 (七八)

長浜 田中ハルエ (八二)

穂積 片山イワノ (六三)

白滝 菊地 忠生 (九四)

二宮カネヨ (八〇)

### 編集後記

新年度になって早くも一か月が過ぎました。小学校の校庭や沖浦観音の桜も春雨とともに散って、新緑が美しい季節となりました。入学した児童、生徒や新社会人としてスタートした新入社員の方たちも、学校に職場に慣れたでしょうか。人生のスタートとしての節目、節目を大切にして過ごして欲しいものです。

私たち編集担当者もひき続いて五十七年度も皆さんとともに住みよい町づくりをめざして、広報紙を作っていくたいと考えています。今年度から八人の方に広報モニターをお願いして、地域のすみずみのご意見、要望なども寄せさせていただくことにしています。

### 人口世帯数

楽しく住みよい町、豊かで働きがいのある町  
美しい人情と文化の町をつくり、人口をふやしましょう

	4月1日現在	前月との比較
人口	12,691人 (男 6,024人 女 6,667人)	118人減 (69人減 49人減)
世帯数	3,872世帯	14世帯減

